

ふ ら い ん ぐ で い す く き ょ う ぎ じ っ し ょ う こ う

フライングディスク競技実施要項

期日:令和4年5月22日(日)

場所:ファインプラザ大 阪

1 競技規則

令和4年度の全国障害者スポーツ大会競技規則及び競技実施要項により行う。

2 競技種目、組み合わせ及び競技方法

(1)競技種目

①ディスタンス競技 (男子座位・女子座位、男子立位・女子立位)

②アキュラシー競技 ディスリート・ファイブ(5m)

ディスリート・セブン (7m)

(2)組み合わせ

・年齢区分 少年①13歳～14歳 少年②15歳～19歳 青年①20歳～27歳 青年②28歳～35歳
壮年①36歳～45歳 壮年②46歳～60歳 壮年③61歳以上

・各組の組み合わせは、年齢区分ごとの年齢順により行う。

(3)競技方法

①ディスタンス競技

- ・プレーヤーは3回連続して試技を行うが、試技の前に1回の練習を行うこととする。
- ・距離計測は、スローイングライン中央の計測点から、ディスクが一番最初に地面に触れた点までとする。
- ・試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とし、以降の試技は無効とする。
- ・座位で競技する場合、椅子等座るための用具の高さはクッションを含めて75cm以下とする。

②アキュラシー競技

- ・プレーヤーは10回連続して試技を行う。
- ・プレーヤーが視覚障がい者の場合、アキュラシーゴール中央を音源で知らせることが出来る。
- ・試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とし、5分以降の試技は無効とする。

◎共通項目

- ・スローイング方法は自由とする。
- ・競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ・使用するディスクは日本障害者フライングディスク連盟公認「ファーストバックモデル」で、直径 23.5cm、重さ 100±5gとする。
- ・ディスクは主催者が用意したものを使用する。

3 番号布(ゼッケン)

番号布は、主催者側が交付したものを使用し、背部に着用する。

4 開 会

開会は、指定された場所に集合する。

5 表 彰

各組ごと、1位、2位、3位の選手にメダルを授与する。

6 介助者

- (1)介助者はスローイングエリア内に入ることができない。
- (2)選手に対して技術的なアドバイスは行えない。